

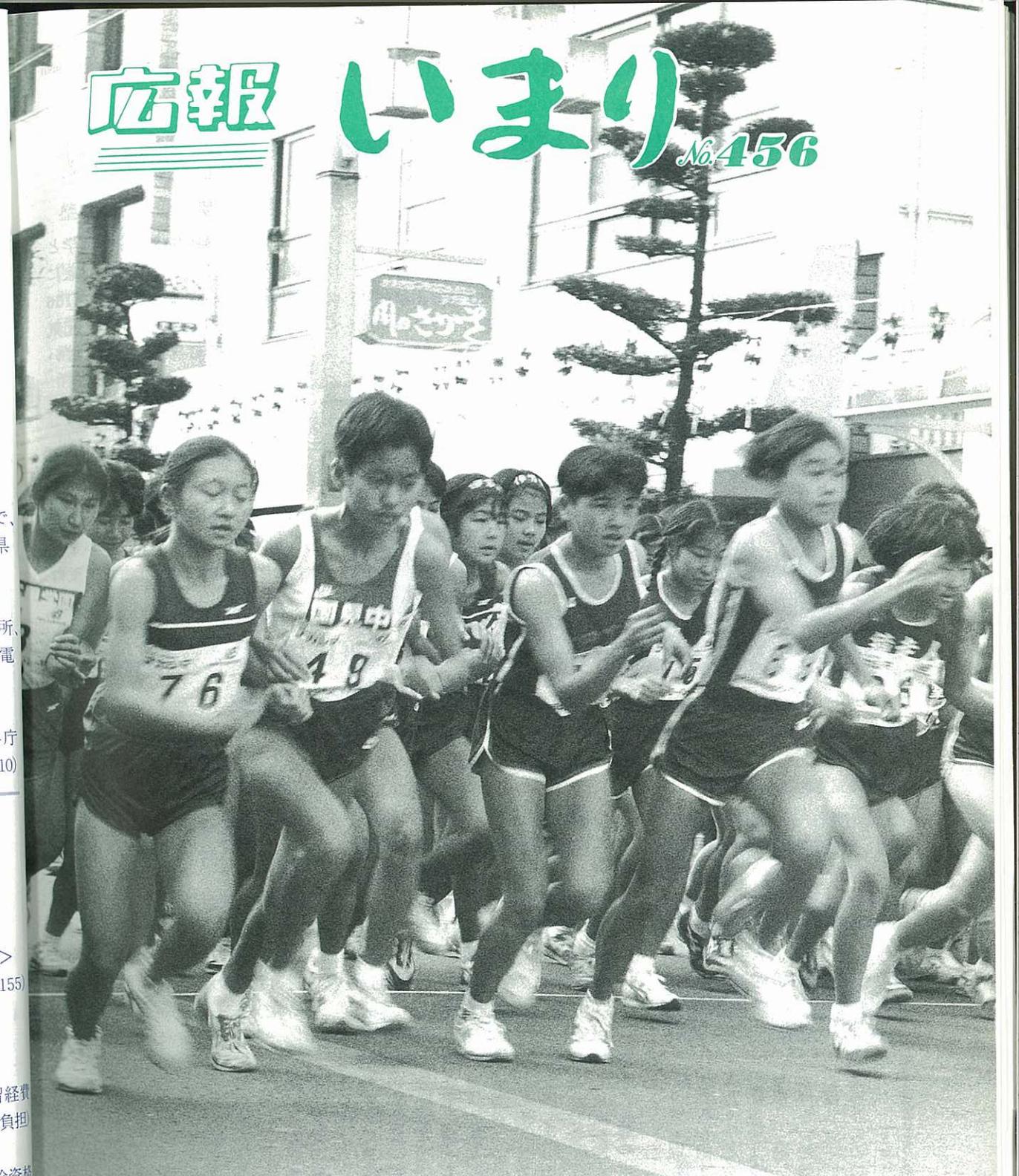
広報

いまり

№.456

県  
所、電  
庁  
(10)  
>  
(155)

経費  
負担  
合資  
格  
続  
き  
ま  
す  
地  
区  
の  
能  
開  
発  
い。



さあ、ゴールを目指し

中島 保杯ロードレース女子の部スタート(関連記事9ページ)

'92

2月

〈人口〉男28,618人 女32,027人 計60,645人(前月比+24)〈世帯数〉17,572世帯(1月1日現在)

## 地域づくりは人づくりから

# 伊万里アカデミー開講

伊万里市は「地域づくりは人づくりから」という考え方から、若い人をヨーロッパへ派遣したり、21世紀伊万里村づくり塾を開講するなど、いろいろな人材育成事業を行っています。そのひとつとして、今年度から「伊万里アカデミー」を開講しました。

●丹野教授の講義「創造性の開発」



21世紀の豊かな伊万里市を創っていく人材をそだてる「伊万里アカデミー」が、1月9日伊万里公民館で開講しました。

日ごろ接する機会の少ない専門的な知識を学んだり、異業種間の人と人の交流や情報交換の場として始めたものです。商工業や農業などいろいろな分野で次の世代を担っていく若い人や、地域づくりを行っている人を対象として呼びかけ、女性5人を含む57人が受講しています。

講座は、佐賀大学の教授を講師に迎え、「2010年アルカディア（理想郷）伊万里」をテーマとして、「21世紀の伊万里市を見据えることのできる人づくり」「自らの地域を語ることのできる人づくり」など5つの基本方針で取り組んでいます。

このアカデミーは、ふるさと創生人材育成事業のひとつとして行われているもので、今回が1回目。平成4年度からも続けて行うことにしています。

## 主な人材育成事業

### 21世紀伊万里村づくり塾

伊万里農林高校や佐賀大学と協力して、若い農業者を対象に平成2年9月にスタート。166人の意欲ある若い塾生が、元気で、夢のある農業を目指しています。

### グローバル伊万里海外派遣研修事業

2年前に始まった海外派遣研修事業。市内の若者20人が、歴史と伝統を誇るヨーロッパを自分の目で確かめ、「古伊万里のまちづくり」など、いろいろな提言を行っています。

### 次代を創る人材育成事業

今年度から始まった事業。まちづくりや商店街振興、水産業、農業・農村づくりのセミナーへ、関係者を研修派遣しています。

### 伊万里学ゼミナールや伊万里塾

市は現在、故郷伊万里を学び、まちづくりにも生かしていく郷土学「伊万里学」を検討しています。そのなかでは、「伊万里学ゼミナール」や「伊万里塾」などの設置も検討されています。

るくらいで、相撲協会も舞の海がはたしてどれだけとれるものか心配であつたと思うが、体の大きいものほど脅かす立ち合いは、相撲の醍醐味ともいえるべく、ロンドン公演でも一番人気を博したとかで、相撲協会のドル箱の一つといってもいい。

私は初場所の若手の活躍を見て、舞の海の体のハンディを克服するための発想と、そのための稽古、そして勝利への執念に、深い人生訓を得ることができた。

若・貴ではその稽古量とねばりが白星につながり、しかも負けてくさらず、勝っておごらず、自分の取り口だけを反省している態度には敬服のほかはない。先般、伊万里にも東関部屋から来られたが、その礼儀の正しさには筑き入った。

伊万里市もいま各界の若い人たちが燃えて活性化しているが、大都会とのハンディも舞の海のように発想の転換で克服し、若・貴の稽古量にも負けない勉強をしてあくまでねばり強く、伊万里の名声を確かなものにしてもらいたい。

(竹内)

## 消防 5色放水も華やかに 出初め式

市消防出初め式が1月5日市街地を中心に行われました。市消防団(西 常男団長)の12分団から団員974人と車両58台、消防署員、女性消防団員、少年消防クラブ、婦人防火クラブなどが本町バイパスに集結。竹内市長や特別参加の井本勇佐賀県知事、徳田正明日本消防協会常任副会長の観閲を受けたあと、徒歩部隊は本町アーケードを、車両部隊は中央バイパスを分列

行進しながら伊万里中学校へ移動。同校前伊万里川河畔で、各分団の小型ポンプ12台と消防署のはしご車による「5色放水」が華やかに行われました。

伊中グラウンドでの式典では、平成3年中に入団した新入団員88人を代表して、波多津分団第2部の渡辺芳孝さんが職務に精励することを誓った宣誓書を読み上げたほか、優良消防団員の表彰などが行われました。



○伊万里川河畔での5色放水

### 総合計画基本構想

## 豊かで活力のある まちづくり~その4~

国際経済活動の促進を図ります。

#### 〈勤労者対策〉

既存企業の振興、優良企業の誘致を促進し、雇用機会の創出を図ります。特に若年層の就業の場を確保するとともに、高齢者、障害者、女性が安心して働けるよう条件の整備に努めます。

西暦2000年の伊万里市の将来像を明らかにした第3次伊万里市総合計画(マスタープラン)の基本構想の中の「豊かで活力のあるまちづくり」についてお知らせしてきましたが、2月発行の予定で要約版を全世帯に配布しますので、広報での掲載は今月号をもって終了します。

#### 〈観光リゾートの振興〉

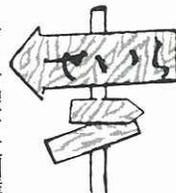
伝統ある伊万里焼やトンテントン祭り、あるいは観光農園などの豊富な観光資源を、新しく展開するマリレジャーや民間のリゾート開発に積極的に結びつけ、焼き物づくりとヨットセーリング、トンテントン祭りと伊万里グルメなど、「体験する観光」「食べる観光」などの新しい観光イメージづくりを進めます。

また、古伊万里文化が漂うまちとしてのイメージを大切に、外国人が安心して観光のできる受け入れ体制を整えます。

#### 〈貿易の振興〉

中国大陸、朝鮮半島、東南アジアに近いという地理的優位性を生かし、港湾施設を整備するとともに、貿易関連施設や貿易関連企業の立地を促進し、伊万里湾の貿易機能の強化と企業の

若・貴の活躍で大相撲がブームを呼び、平成四年の初場所は横綱不在にもかかわらず、場所中大入満員の大盛況であった。



もちろん、若花田、貴花田だけでなく、舞の海や武蔵丸のような個性のある力士がそれぞれに持ち味を生かし、総じて若い力士の台頭が著しく、場所全体がきびきびしていた。特に舞の海は連日奇想天外な取り組みをするのでファンの期待が大きかった。牛若丸の異名があるとおりに北勝鬨との勝負では一筋も飛び上がって背中にまわり「こと思えばまたあちら」と牛若丸の歌のおりを演じた。曙との取り組みでは、先場所と違って足のかからないうちにつり上げられ抱え出されたが、テレビで見ているとまるで大人と子どもの相撲のようであった。

体力がものをいう相撲界にあって、頭にコブをつくって身長検査に合格したといわれ

# 市の台所

## 平成3年度 上半期の収支状況

平成3年度の9月末日の予算現額は、一般会計201億6030万円で、前年同期と比較すると10億5280万円増えています。簡易水道特別会計ほか8特別会計の予算現額は、総額105億7185万円です。

平成3年度上半期(4月1日～9月30日)の予算とその執行のあらましは、次のとおりです。

### 一般会計

#### 歳入

収入済額 81億7989万円

予算現額201億6030万円のうち、市税などの自主財源は81億1528万円で構成比40.3%、地方

交付税や国・県支出金などの依存財源が120億4502万円で構成比59.7%となっています。

上半期の収入済額は、81億7989万円で、予算に対して40.6%が収納されています。その主なものは、地方交付税41億4901万円、国・県支出金8億7805万円、市税20億7243万円です。

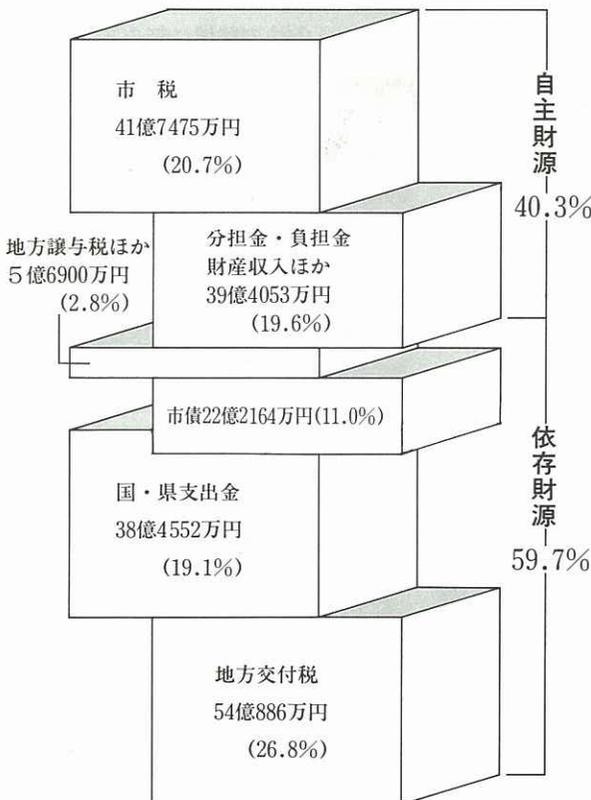
#### 歳出

支出済額 63億5225万円

予算現額201億6030万円を性質別にみると、扶助費、人件費などの消費的経費が98億673万円で構成比48.7%、建設事業費などの投資的経費が71億137万円で35.2%、市債の元利償還金、諸支出金などその他の経費が32億5220万円で16.1%となっています。

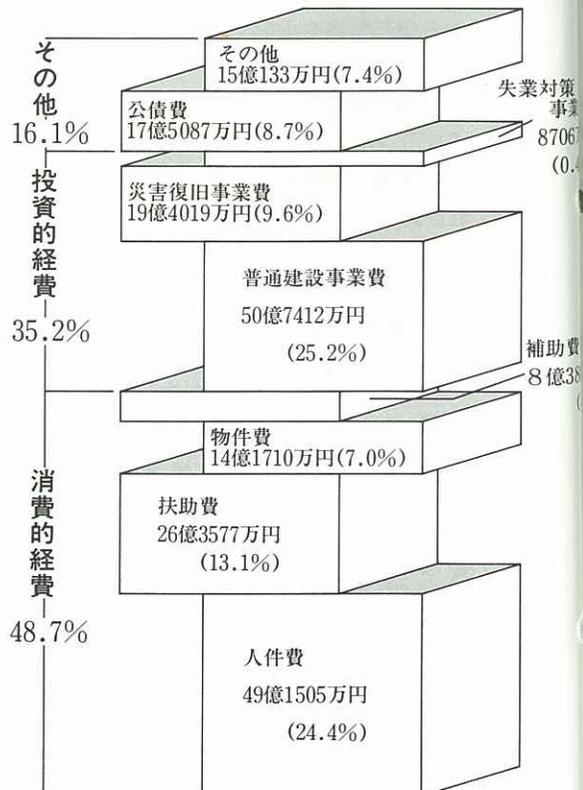
上半期の支出済額は63億5225万円で、予算に対して31.5%となっています。

財源別歳入の割合



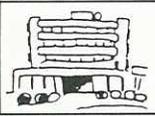
性質別の歳出割合

### 一般会計予算現額



# 一般会計予算の使いみち

( )の%は支出率

予算額 45億 478万円 支出額 13億7196万円 (30.5%)		総務費	予算額 36億1387万円 支出額 17億3623万円 (48.0%)		民生費
予算額 23億6689万円 支出額 6億9558万円 (29.4%)		教育費	予算額 21億3915万円 支出額 2億6881万円 (12.6%)		土木費
予算額 19億8753万円 支出額 7129万円 (3.6%)		災害復旧費	予算額 17億5171万円 支出額 7億8173万円 (44.6%)		公債費
予算額 11億2538万円 支出額 2億 208万円 (18.0%)		農林水産業費	予算額 10億1687万円 支出額 4億3350万円 (42.6%)		衛生費
予算額 8億3443万円 支出額 3億2894万円 (39.4%)		消防費	予算額 2億5708万円 支出額 1億6028万円 (62.3%)		商工費
予算額 3億3929万円 支出額 1億4159万円 (41.7%)		その他 <small>議会費 諸支出金 予備費</small>	予算額 2億2332万円 支出額 1億6026万円 (71.8%)		労働費

予算現額 201億6030万円

支出済額 63億5225万円

## 市債の状況

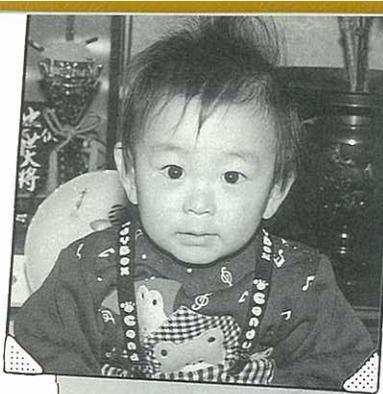
(単位：万円)

会計名・借入先	2年度末 現在高	3年度中 借入額	3年度中 償還額	3年9.30 現在高
一般会計	1,174,111	130	44,603	1,129,638
大蔵省	722,833	130	30,890	692,073
郵政省	185,404		6,287	179,117
佐賀県	73,152		921	72,231
銀行	29,669		2,533	27,136
公営企業 金融公庫	92,791		3,480	89,311
共済組合等	70,262		492	69,770
特別会計	884,602		3,842	880,760
合計	2,058,713	130	48,445	2,010,398

## 特別会計

(単位：万円)

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
簡易水道	27,413	6,325	6,846
国民健康保険	332,694	122,561	114,654
市営駐車場	2,403	1,635	717
同和地区住宅 新築資金等貸付	791	63	69
立花台地業 開発事業	49,957	35,790	875
休日急患 医療センター	912	155	402
老人保健	421,424	191,299	189,656
公共下水道	183,234	37,913	54,187
土地区画整理	38,357	524	17,924



### ★ わが家のPOPOPO ★

まさふみ  
畠山 雅史 くん  
(1歳1か月)

とわこ  
寿彦・常子さんの長男

ボク、酒屋の看板息子！お客さんに愛想よくあいさつできるんだよ。うちのお酒とってもおいしいから、ぜひ立ち寄ってね。  
(南波多町重橋)

# ほほえみひろは

この広場はみなさんのページであなただの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

## 100歳おめでとうございます 小隈エイ さんへ 長寿記念メダル

昨年12月27日、竹内市長はこの日100歳の誕生日を迎えた小隈エイさんを二里町大里の自宅に訪れ、100歳記念メダルを贈り長寿を祝いました。

エイさんは明治24年12月27日生まれで、昭和8年小隈藤右衛門さん(故人)と結婚。現在は息子の卓雄さん(59歳)夫妻と暮らしています。

昔から旅行が好きで、80歳で

ハワイ旅行をされたそうです。病気らしい病気はしたことがない元気さで、食事は今も3食きちんととり、とくに牛乳は毎日1本、欠かさず飲んでいるとのことです。

「100歳のお誕生日おめでとうございます」と竹内市長から



◎長寿記念メダルを贈られ笑顔のエイさん

メダルを贈られると、エイさんは姿勢を正して「お忙しいなかをありがとうございます」と、はっきりしたことばでお礼を述べられました。

## 郷土の文化財

# 伊万里まだら

鶯の鶯の今度初めて伊勢参宮  
伊勢より広き町なれど  
一夜の宿屋をかりかねて  
浜の小松のこの枝に  
柴かきよせて巢をくんで  
十二の卵を産みそろえ  
十二いっしょに目をひらき  
親もろともにたつときは  
黄金の銚子を取りいだし  
また白銀の盃を  
飲めや大黒 歌えや恵比須  
中の酌とりゃ福の神  
ションガイナ ー ションガイナ ーを  
とめずとずらずっとやらしゃんせ



(伝承者 伊万里まだら保存会 松尾テイさん)

江戸時代の伊万里津は、日本各地から多くの陶器商人たちがやってきていました。伊万里まだらは、それらの商人たちと伊万里商人との間で、商談が成立した手じめの宴席などで歌われた祝い歌です。

旧伊万里町(現在の伊万里市街地)では、現在でも祝いの席や寄り合いなどで、歌い継がれています。

「まだら」と名のつく民謡は、肥前地域以外では、日本海岸や太平洋岸、瀬戸内から和歌山県にいたる港町によく残っており、それらの多くは、伊万里焼を売りさばく船の寄港地として栄えたところです。

その起源については、鎮西町馬渡島の船唄をもとにしているなど諸説ありますが、江戸時代前期から盛んになってきた伊万里焼の流通にのって、全国各地に歌い広げられていったことが考えられます。

伊万里まだらは、海上交通と文化の伝わりかたを考える上で、貴重な生き証人です。

# 伊商生がボランティア活動

## 点字年賀状やワープロ教室など

伊万里商業高等学校（野方俊彰校長、934人）が、文部省から平成3年度と4年度の「奉仕等体験学習研究推進校」に認定され、生徒たちは大平山のトイレの清掃や雲仙普賢岳被災者への募金活動、西有田町で行われた車イスマラソンの手伝いなど、いろいろなボランティア活動に取り組んでいます。



●点訳奉仕の会の指導をうけて点字年賀状づくり

昨年末には、ワープロ部（金子裕美部長、34人）が、50歳以上を対象にしたワープロ教室を開催。実力県内ナンバーワンの部員たちが、ワープロを使った年賀状づくりを、お年寄りたちにていねいに指導しました。

また、昨年10月に結成された伊商JRC（青少年赤十字クラ

ブ・大迫奈奈団長、14人）は、点訳奉仕の会きつつき（児島享子会長、17人）の指導を受けて点字の年賀状作りに挑戦。「あけましておめでとうございます。初めて点字でお便りします」と打ち込んだ年賀状を作り上げ、目の不自由な人たち約20人に送りました。



前田佳代子さん(25)

黒川町横野(魚座、B型)

七ツ島産業に勤めています。行動はとろく、性格も引っ込み思案。カラオケも人前ではダメですね。スポーツも苦手だったんですが、去年の9月からゴルフを始め、今はすっかりそのとりこに。でも、包容力があり、頼りがいのあるステキな人が現れたら、その人のとりこになるんですけど…。

## 二十歳のころ。。。

### 戦争一色の青春時代

伊万里市婦人連絡協議会

会長 小島 久子さん(65)



昭和16年先生に憧れて師範学校に入学。その年の12月に大東亜戦争勃発。20年2月には川棚海軍工廠の魚雷作りに動員された戦争一色の世代。

忘れもしない20年8月15日に終戦の玉音放送を聞き、敗戦の悲惨を体験。お土産は毛布2枚と風だったと思います。21年3月卒業。思い起こせば、私の青春は戦争と共にあり、全寮制、動員、大豆粕ご飯、映画も飲食店もご法度のまさしく籠の鳥。

新任地は黒川小学校で5年担任。マッカーサー指令で教科書の中の戦争関係の記事のぬりつ

ぶしが授業にかわる大仕事でした。物不足で運動靴も学級に2足位、抽選の配給制でした。授業のかたわら、開墾や芋作り、塩炊き等よく汗を流したもの。

22年に新制中学校が発足し、中学校に転任しました。農繁期休みも返上してソフトボールの猛練習。市では勿論、県で度々優勝した事が細かな誇りです。その選手達も今では地域の立派なおばあちゃんになっています。

あれもこれも遠い昔の思い出。どん底の試練に耐えてきた力を人の為に役立てる事が私の唯一の願いです。

## 四季の詩

杖貫ひ 老梅尚も力あり  
陣 内 江本 ぬい  
遠く近く夕べの空をひびきくる  
平和を祈る寺々の鐘  
大坪町白野 田口 豊子





## 成人式788人が新成人

◎会場はまるで同窓会の雰囲気



新成人を祝う成人式が1月15日、市民会館で行われました。今年の新成人は去年より62人多い788人で、男性383人、女性405人が大人の仲間入りをしました。

式典では、新成人を代表して南波多町谷口の井手洋一さんと松島町の山下友子さんが、それぞれ「新成人メッセージ」を読み上げ、大人としての自覚と決意を示しました。

## 知事のふれあい懇談会

「知事のふれあい懇談会」が1月14日、佐賀厚生年金休暇センターで開かれ、伊万里市、有田町、西有田町の住民代表13人が井本勇佐賀県知事と県政について語り合いました。席上、「伊万里川のガタをしゅんせつしてほしい」との要望に、井本知事は現地の測量調査を約束しました。懇談会は、地域の声を県政に反映させようと、井本知事が県内を巡回して実施しているものです。

伊万里市第一会館にて  
知事のふれあい懇談会



## 大翔会の車おろし

## 世界一の大皿目指し

◎車おろしで「ミニ大皿」づくり



「大皿に夢をのせて翔こう会（略称大翔会）」が1月10日、大坪町古賀の細工場ではじめにあたる車おろしをして世界一の大皿づくりに取りかかりました。同会は、唐津焼の本場が伊万里であることをアピールしようと、昨年6月溝上藻風さんら伊万里陶芸美術協会の会員を中心に22人で結成。現在ギネスブックに記録されている直径1.83メートルの大皿を上回る世界一の大皿をつくろうと準備を進めてきました。

## 招福えびす祭り

## 七福神がやってきた

「招福伊万里えびす祭」が1月19日、本町アーケードで催され、七福神パレードや福引き抽せん会などでにぎわいました。七福神には竹内市長や上瀧商工会議所会頭など関係者が仮装し、「福がきたぞー」と商店街をふれまわりました。会場では見物人にお神酒やおでん、あめ湯がふるまわれ、福運券による福引き抽せん会では、生き鯛を当てた人が「新年そうそう縁起がいい」と顔をほころばせていました。



## 中島 保杯ロードレース

### 小学男子 山浦くん(東山代) 制覇



◎小学男子の部のスタート

27回目を迎えた伝統の中島保杯ロードレースが1月15日、駅通りを出発、ゴールとする瀬戸町方面折り返しコースで開かれ、市内外から600人が参加して健脚を競いました。

ことしから「お父さんから子どもまでのロードレース」の趣を強くするため、小学生を対象にした2歳と40歳以上の5歳を設けたほか、一般の部も10歳から10歳に変更。去年の422人を大幅に上回る参加者に、大会関係者もほっとしていました。

それぞれの種目の優勝者は次のとおりです(敬称略)

- 一般の部 (10歳)
- 中尾啓司(九州電子)31分10秒
- 高校の部 (10歳)
- 岩本瑞樹(有田工)32分04秒
- 中学の部 (5歳)
- 織田泰聡(有田中)16分13秒
- 40歳以上の部 (5歳)
- 金子義徳(九州電子)16分47秒
- 女子の部 (3歳)
- 林 恵美(有田工)10分21秒
- 小学男子の部 (2歳)
- 山浦芳樹(東山代少年野球)7分01秒
- 小学女子の部 (2歳)
- 水田鳴身(須古かけっこクラブ=白石町)7分41秒

## 2月のスポーツ

2日(日)

- 大坪地区卓球大会  
9時 国見台体育館

9日(日)

- 伊万里町民卓球大会  
8時半 啓成中学校
- 山代町子ども会卓球大会  
8時半 山代公民館

16日(日)

- 大川内町民走ろう・歩こう会  
9時 大川内公民館集合
- にこにこジョギング大会  
12分10分 信用金庫瀬港支店前スタート
- 黒川町民グラウンドゴルフ大会  
13時 黒川湖上公園
- 松浦町健康づくり町内一周駅伝  
13時20分 下平公民館前スタート
- 二里町民卓球大会  
8時半 国見台体育館
- 東山代町民卓球大会  
8時半 滝野中学校
- 山代町民卓球大会  
8時半 山代公民館

3月1日(日)

- 波多津町民バレーボール大会  
8時 波多津小・中学校ほか

## JAロードレース

### 喜多監督が特別参加

JAさわやか10歳ロードレース大会が1月12日、市農協会館前から大川内山折り返し10歳のコースで開かれました。

大会には一般ランナー90人のほか、神戸製鋼陸上部監督の喜多秀喜さんも特別参加。一般に1分以上の差をつける29分53秒のタイムでゴールし、一流の走

りを披露しました。

上位の成績は次のとおりです。

(敬称略)

- 1位 中尾 啓司(九州電子)31分07秒
- 2位 岩永 徳樹(西有田体協)31分32秒
- 3位 佐々木隆司(伊万里信金)31分42秒



◎健在ぶりを示した喜多監督

# 国際アマチュア陶芸展 伊万里'92

土の香り漂う焼物の里「伊万里」から広く世界のアマチュア陶芸家に呼びかけ「国際アマチュア陶芸展 伊万里'92」を開催します。情熱と創造性に富んだ作品をお待ちしています。

● 作品受付

2月9日から3月15日まで  
※搬入は直接会場まで

● 賞

鍋島大賞……………1人・30万円  
優秀賞……………2人・5万円  
特別賞……………3人・3万円  
佳作・入選…若干名・記念品

● 審査員

13代中里太郎右衛門  
13代今泉今右衛門  
14代酒井田柿右衛門

● 陶芸展

▲会期 4月1日～4月10日  
▲会場 伊万里・有田焼伝統産業会館  
●応募要領 ▲少年の部（小中学生） ▲一般の部（高校生以上）  
1人（1グループ）2点以内  
◎問い合わせは、実行委員会事務局伊万里市商工観光課まで  
(☎0955-23-2111 内線354)

## 兼高かおるさんの 講演会(無料)

- 日時 2月6日(木) 13:30～15:00
- 会場 佐賀厚生年金 休暇センター
- 講師 兼高 かおるさん
- テーマ 「世界の民族」 「旅のあれこれ」
- 主催 伊万里有田法人会

## 厚生年金休暇センター の 茶 道 教 室

- 日時 2月18日～3月18日 の間で10回。13時～16時
- 会場 休暇センター
- 受講資格 厚生年金保険の年金受給者と被保険者
- 受講料 無料
- 申込先 佐賀厚生年金休暇センター (☎231001)

## わらび座公演 舞踊劇「津軽」

困難に打ち勝って生きのびようとする人間の真の姿を描く、「わらび座」創立40周年記念作品です。

- 日時 2月20日 18時半～
- 会場 市民会館
- 入場料 (前売券) 大人3200円 小中高2000円

## 全労済のこくみん共済に加入を

全労済は、厚生省認可で非営業の共済事業を営む生活協同組合の連合会です。

### こくみん共済

掛金月々3,000円 (15歳～45歳)		子供コース掛金 (0～14歳) 月々1,000円
死亡	交通事故	1,800円
	交通以外の不慮の事故	1,200円
病	病	600円
	病	200円
障害	交通事故 (1級～14級)	1,800円～400円
	交通以外の不慮の事故 (1級～14級)	1,200円～240円
入院	交通事故	日額8,000円
	交通以外の不慮の事故	日額5,000円
	病	日額2,000円
通院	交通事故	日額1,500円

※15歳～59歳までの方には月々2,000円のコースもあります。

※詳しいことは佐賀県共済会へ  
お尋ねください。  
(☎095-213-2111)

## 相続登記無料相談

2月は「相続登記はお済みですか月間」です。

相続登記を長年放置しておく、さまざまなトラブルを引き起こすものになります。

佐賀県司法書士会は、次の日程で相続登記無料相談を実施します。

- 期間 2月1日～29日 (除第2、第4土曜)
- 会場 県内各司法書士事務所
- 相談内容 相続登記に関する相談 (無料)

## 市営住宅の入居予備者募集

平成4年4月1日以降、市営住宅に空き家が生じたとき、順次入居していただくための入居予備者を募集します。

### ▲募集団地

立花、大坪、勝田、大久保、楠久第二、久原、立岩、弁天

### ▲受付期間

2月20日から3月10日まで

### ▲選考方法 抽せん(3月23日)

※申し込み用紙は、市建設課住宅係(☎2111 内線333・493)にありますので、早目をお願いします。

## 台風17号・19号の 森林被害者の方へ

昨年9月の台風で、市の森林はかつてない被害を受けました。市は、被災者の皆さんができる限り早く復旧ができるよう、各種補助事業に取り組んでいます。

被害木の整理、跡地造林を希望される人は、次のところまでご相談下さい。

### ▶市農林水産課

(☎2111 内線374)

### ▶伊万里市森林組合(☎3398)

### ▶農林事務所林業課(☎5171)

## 住宅金融公庫の 融資受付

住宅金融公庫の平成3年度の個人向け融資の受付は、

- ・マイホーム新築資金
- ・建売住宅購入資金
- ・新築マンション購入資金
- ・中古住宅購入資金
- ・リフォームローン
- ・財形住宅資金

3月13日まで

3月19日まで

●申込先 「住宅金融公庫業務取扱店」と表示した金融機関

●問い合わせ先 住宅金融公庫福岡支店(☎092-722-5011)

## 今月の市民相談

場所:市民相談室10時~15時

### 無料・秘密厳守

- 法律 6、20(木)
- 社会保険 7、14、21、28(金)
- 交通事故 18、25(火)
- 行政 19(水)
- 人権 4、18(火)
- 身障者 24(月)
- 青少年 27(木)
- 消費生活 3、10、17、24(月)
- 婦人就業 5、12、19、26(水)

## 2月の市民会館行事

- 20日(木) 18時半 大人1,800円  
舞台劇「津軽」 小人1,400円  
3月1日(日) 10時 無料  
伊万里市婦人大会

## 佐賀救急医学会

### あなたも市民救急隊

- 日時 3月7日 13時半~
- 会場 伊万里玉屋

〈プログラム〉

▶教育講演「ふえつづける循環器病」「頭部外傷に関する新しい考え方」

### ▶パネルディスカッション

「どうしたら救命率を上げることができるか?」

### ▶特別講演(16時半~17時半)

演題「救急救命士って何? ニュースキャンペーンの舞台裏」  
黒岩祐治氏(FNNスーパータイム・ニュースキャスター)

●連絡先 山元外科病院

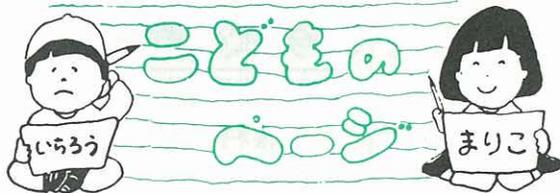
(☎23166)

※入場無料。一般の方大歓迎!

## 技能講習会のお知らせ

セミナー名称	定員	3月実施日	経費 (テキスト代込み)	時間帯
陶磁器上絵付け(5)	10	3/5, 9, 10, 12, 16, 17, 19	500円	18:00~ 20:40
ワープロ入門	15	3/2, 3, 5, 9, 10, 12, 16, 17, 19	500円	18:00~ 20:40
データベース入門	15	3/9, 10, 12, 16, 17, 19, 23, 24, 26, 27	500円	18:00~ 20:40
小型車両系建設機械 運転特別教育	10	3/28(土), 29(日)	2,200円	9:00~ 17:00
P O P (中級)	10	3/2, 3, 5, 10, 12, 17, 19	500円	18:00~ 20:40

◎会場と申し込み先 伊万里技能開発センター  
東山代町里359-4 (☎280155)



## 南波多保育園の「もぐら巻き」

# しっかり打ってね

南波多町の老人クラブ福寿会（川添 一会長）のお年寄りが1月13日、南波多保育園（齋藤 睦子園長、115人）で「もぐら打ち」に使う竹の棒をつかってプレゼントしました。園児たちが持ち寄った竹を約2尺の長さに切り、土を打つ部分にワラを巻きつける「もぐら巻き」と呼ばれる作業で、福寿会の役員20

人が保育園の講堂で2時間かけて115本をつくり上げました。

1月14日は市内各地区で「もぐら打ち」が行われますが、南波多町の各地区では1年以内に結婚した家庭を子どもたちが回り、お祝いの意味を込めて「もぐら打ち」をする習慣が続いています。「もぐら打ち」をした家庭からはお礼のお茶菓子など



がもらえるので、子どもたちが楽しみにしている行事です。

園児たちはでき上がった竹の棒を手に、おじいちゃんに打ち方を習ってさっそくためし打ち。「14日のもぐら打ち。銚子出すか、もち打すか。出さねば嫁ごの尻打つぞ！」の大きな掛け声が響きました。でも、この意味わかるのでしょうか？

## えびすラリー

# 隠しタイムとピツタリ

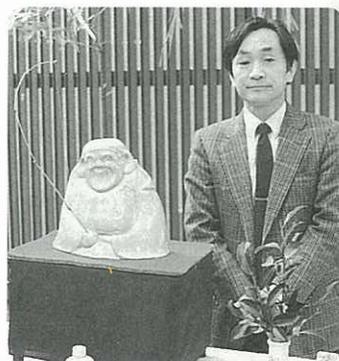
成人の日のイベントとしてすっかり定着した「えびすラリー」が1月15日、本町商店街周辺で



行われ、にぎわいをみせました。

えびすラリーは、市街地の地図に記された場所にあるえびす像を捜して歩くもので、150組、400人の親子連れや仲よしグループが参加しました。太鼓の音を合図に、思い思いのえびす像目指してスタート。地図を囲んで相談するグループの姿が街角のあちらこちらで見られました。

全問正解者の中から、33分30秒の隠しタイムとピツタリあった立花台2丁目の杉山博人さんと祐樹くんの親子チームが、トロフィーと商品の鯛を獲得しました。



● えびす像と制作者の林さん

本町名店街（松尾耕助理事長、50店）は、シンボルとなる焼き物の「えびす像」の制作を、塩田工業高校の美術教諭林 良二さん（51）に依頼していましたが、このほど完成し、えびすラリーで披露されました。

この「えびす像」は、伊万里信用金庫の通りに面したショーウィンドーに、当分の間飾られます。